４．教育福祉学科　専門教育科目　体系図

科目群の学習目標・到達目標

科目群の学習目標・到達目標	1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期
■教育福祉の概念及び教職の意義等について理解する 教育福祉学科の教育課程編成の基本方針とともに、学校教育の重要性、教職の意義と責務及び職務内容について理解を深め、教育に対する情熱や使命感、及び福祉マインドを持った教育者としての自らの目指す方向性を明確にします。 ・教育福祉とは何かについての考察を通して、現代社会において教育・福祉の果たす役割の重要性を認識し、福祉マインドを持った教育者としての自らの目指す方向性を理解します。 ・教職の意義と責務、職務内容及びチーム学校への対応について理解するとともに、教職に対する自分の適性を判断し、教育に対する情熱や使命感を高めます。	教育福祉総論２ 教職概論②							
■教育の基礎理論について理解する 教育学、心理学など教育に関する基礎的な理論を学び知識を修得するとともに、法令や教育行政など学校教育を支える基盤となる諸制度に関する基本的な知識を身に付けます。 ・教育福祉学の基盤を構成する教育学、心理学についての基礎的な知識を理解します。 ・教育の本質や理念、教育の目的、教育実践の歴史や思想等についての理解を深め、これからの教育のあり方や教育課題解決に対する自分の考えを述べることができるようにします。 ・学校教育に関する法令の基本的な内容とともに、学校を中心とした教育制度と学校経営に関する事項について理解します。 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について理解します。	教育学概論２ 心理学概論２	教育原理② 日本国憲法② 教育心理学② 発達心理学②	子ども家庭支援の心理学②					教育行政学②
■教育課程及び指導法について理解する 各学校種における教育課程の意義や編成方法を理解するとともに、学習指導要領や教育要領など教科指導の基盤となる基本的な知識や指導方法（情報通信技術の活用を含む。）を理解して、教育活動をする上で必要となる指導力を身に付けます。 ・今日的課題である学力向上や体力向上などを踏まえ、教育課程の意義及び編成の方法について理解するとともに、カリキュラムマネジメントの意義や重要性を理解します。 ・板書、話し方、表情等、授業を行う上での基本的な表現力を身に付けます。 ・計画－実行－評価－改善の繰り返しによって自己の授業力が向上することを理解し、その方法を実践的に身に付けます。 ・保育の５領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）における内容を、幼稚園や保育所での実際の保育場面と関連づけながら総合的に理解し、指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・小学校各教科の目標、学習内容、指導法、指導案づくりなどについて理解を深め、模擬授業等を通して各教科の特性を生かした指導計画を作成する力や実践的指導力、教材活用能力を身に付けます。 ・保健体育科の目標、学習内容、指導法などについて理解を深め、教科の特性を生かした指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・体験を生かした道徳の授業づくりや道徳的実践力の育成等について理解し、幼児、児童が自らの生き方について考えを深める道徳の指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・総合的な学習の時間の意義と原理及び指導計画作成や指導・評価の考え方を理解し、実践的指導力を身に付けます。 ・望ましい集団活動や体験活動、コミュニケーションスキルを高める指導等について理解を深め、特別活動の特性に応じた適切な指導計画を作成する力や実践的指導力を身に付けます。 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解するとともに、教育課程や支援の方法を理解します。	特別支援教育の理解と方法①		教育の方法と技術（情報通信技術の活用を含む。）② 保育内容総論②	保育内容（健康）② 保育内容（人間関係）② 保育内容（言葉）② 保育内容（音楽表現）② 保育内容（造形表現）② 初等教科教育法（国語）② 初等教科教育法（算数）② 初等教科教育法（生活）② 道徳の指導法② 総合的な学習の時間と特別活動の指導法②	教育課程論② 保育内容（環境）② 初等教科教育法（図画工作）② 初等教科教育法（音楽）② 初等教科教育法（体育）② 初等教科教育法（外国語）② 保健体育科教育法Ⅰ④	初等教科教育法（社会）② 初等教科教育法（理科）② 初等教科教育法（家庭）② 保健体育科教育法Ⅱ④		

※表中の数字は単位数を表し、［　2］は必修科目、［　②］は選択科目です。

	1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期
■生徒指導、教育相談及び進路指導について理解する 幼児・児童・生徒理解に関する基礎的な知識や方法を学ぶとともに、発達段階に応じた生徒指導や教育相談等のあり方や指導方法を身に付けます。 ・豊かな人間関係づくり、家庭や地域社会との連携などについて理解を深め、幼児・児童・生徒の人格の偏りのない発達を促すような実践的指導力を身に付けます。 ・子ども理解や保護者との信頼関係に欠かせないカウンセリング・マインド、コミュニケーション・スキル等について理解を深め、教育相談の理論や技法を身に付けます。 ・勤労観の育成やキャリア教育等について理解を深め、適切な指導や助言に必要な進路指導の理論や技法を身に付けます。			教育相談の理論と方法②		幼児理解の理論と方法②			
			生徒・進路指導の理論と方法②					
			生徒指導の理論と方法②					
■教育の理論を実践に応用する 教育現場での各種実習を通して、教職に必要となる基礎的な知識・技能を確認するとともに、教育現場の課題や教育者としての自己の能力や適性について問題点や改善点を考察するなど、教育者としての実践的な能力を身に付けます。 ・教育現場の体験を通して子どもとかかわり、教師に求められる資質・能力について自覚するとともに、学校教育が抱えている現実の諸課題への認識を深めます。 ・教職の基本となる知識・技能をもとに、多様に変化する教育現場に対処する能力を養い、教員としての力量を常に高めていこうとする姿勢の大切さを自覚します。 ・幼児教育実習、初等教育実習、中等教育実習を通して、様々な教育課題を抱える教育現場の実際に触れ、教育職への認識と自己理解を深め、実践的指導力を身に付けます。 ・養護実習を通して、学校における保健教育や保健管理等の学校保健活動の実際に触れ、養護教諭の果たすべき役割を把握するとともに、総合的な学校保健活動を展開できる知識や技能を身に付けます。 ・特別支援教育実習を通して、障害のある児童、生徒の教育現場の実際に触れ、障害の状態や教育的ニーズを踏まえた実践的指導力を身に付けます。 ・保育実習を通して、保育士の業務内容や職業倫理への理解を深め、保育士として必要な知識・技能や実践的指導力を身に付けます。	教職体験研究①					幼児教育実習事前事後指導①	幼児教育実習④	保育・教職実践演習（幼・小）②
						初等教育実習事前事後指導①	初等教育実習④	
						中等教育実習事前事後指導①	中等教育実習Ⅰ②	教職実践演習（中・高）②
							中等教育実習Ⅱ②	
								特別支援教育実習③
						養護実習事前事後指導①		養護実習Ⅰ②
								養護実習Ⅱ②
								教職実践演習（養護教諭）②
					保育実習指導Ⅰ②	保育実習Ⅰ④		
						保育実習指導Ⅱ①	保育実習Ⅱ②	
					フィールドスタディⅠ①		フィールドスタディⅡ①	
■教科の内容について理解する 小学校の教育課程で取り扱われる各教科について、それぞれが持つ特性と内容の理解を深めるとともに、各教科の特異性と教育的な意義を加味した効果的な教科指導ができる力を身に付けます。 ・小学校各教科について、学習指導要領の趣旨を理解するとともに、教科毎の目標と内容及びその果たすべき役割について理解を深め、各教科に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けます。 ・「国語」では、話す、聞く、書く、読むの活動に関する表現力、理解力、思考力、想像力及び言語感覚を身に付けます。 ・「社会」では、地域社会や我が国の国土と歴史に対する理解を深めるとともに、観察や調査・見学などの体験的な活動や、それに基づく表現活動の進め方を身に付けます。 ・「算数」では「数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用」の５領域についての理解を深め、数学的な概念を身に付けます。 ・「理科」では、物理、化学、生物、地学に関する理解を深め、科学的な見方、考え方を身に付けます。 ・「生活」では、児童の発達段階を考慮して、生活の中の具体的な活動や体験を授業内容として構想する力を身に付けます。 ・「音楽」では、歌唱・器楽・創作などの表現活動及び鑑賞の活動を通して、音楽に対する感性や知識・技能を身に付けます。 ・「図画工作」では、表現や鑑賞の活動を通して、造形的な創造活動を展開する力を身に付けます。		生活②	国語②	算数②				
			社会②	外国語②				
			理科②					
			図画工作②					
			音楽②					
			家庭②					
			体育Ⅰ②	体育Ⅱ②				

	1年 前学期	1年 後学期	2年 前学期	2年 後学期	3年 前学期	3年 後学期	4年 前学期	4年 後学期
・「家庭」では、衣食住などの家庭生活に関する知識を深め、実践的・体験的な活動を展開する力を身に付けます。 ・「体育Ⅰ・Ⅱ」では、運動や健康安全に関する理解を深め、基本の運動、ゲーム、体つくり運動、器械運動、陸上運動、水泳、表現運動、ボール運動に関する知識・技能を身に付けます。 ・「外国語」では、中・高等学校の外国語科で養うコミュニケーション能力を支える素地づくりとしての小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の学習・指導・評価に関する基本的な知識・指導技術を身に付けます。								
■保育の本質・目的について理解する 社会福祉の基本的な考え方やその対象、援助の仕方などについて理解するとともに、保育の現状と課題を考察し、現代社会に求められる保育や養護の役割や責務などについて理解します。 ・教育福祉学の基盤を構成する社会福祉学についての基礎的な知識を修得します。また、子どもや子育て家庭、障害者への支援のあり方、保育実践の基本的な考え方や社会的養護サービスの理念を学び、保育の本質や目的を理解します。 ・保育や養護の現状と課題について考察するとともに、その意義並びに歴史、法体系、理念などについて理解し、保育実践や社会的養護サービスの基本的な考え方を身に付けます。	社会福祉概論２	保育原理②	子ども家庭福祉②	子育て支援①	社会的養護Ⅰ②	障害者福祉論② 社会的養護Ⅱ①		
■保育の対象について理解する 小児保健、食生活、家族援助等の分野で必要となる保育の基礎的な内容を学び、保育対象者に応じた保育や援助のあり方を身に付けます。 ・保育の対象となる子どもの成長発達、健康の増進、疾病の予防について理解します。また、子どもの健康観察や事故予防、救急処置、基本的生活習慣獲得への援助などについて学び、小児保健の基本的な考え方やその活用、及び今日的課題について理解を深めます。 ・小児期における適切な食生活と栄養に関する基本的知識を身に付けるとともに、保育の対象は子ども・保護者を含めた家族であることを理解し、家族の意義と子育て支援の重要性を認識します。				子ども家庭支援論②	小児保健＊②	子どもの健康と安全① 子どもの食と栄養②		
■保育の内容・方法について理解する 乳幼児や障害児の成長と発達、保育問題の対処法や介助技術の基本ならびに、保育所等における保育内容の特性および基本的な保育方法のあり方について学び、乳幼児保育、障害児保育の基本と援助の仕方を身に付けます。					乳児保育Ⅰ② 保育内容の理解と方法Ⅰ②	乳児保育Ⅱ① 特別支援教育・保育概論② 保育内容の理解と方法Ⅱ②		
■特別支援教育の基礎理論について理解する 特別な教育的支援を必要としている子どもたちの実態と現行の教育体系について学び、特別支援教育の意義や役割、教育実践に関する基礎理論について理解します。			特別支援教育概論②					
■心身に障害のある幼児、児童及び生徒の心理、生理及び病理について理解する 心身に障害（知的障害、肢体不自由、病・虚弱、視覚障害、聴覚障害）のある幼児、児童及び生徒の心理、生理及び病理について理解します。				知的障害者の心理・生理・病理② 肢体不自由者の心理・生理・病理② 病弱者の心理・生理・病理②	視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理②			

※表中の数字は単位数を表し、［　2］は必修科目、［　②］は選択科目です。

	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■心身に障害のある幼児、児童及び生徒の教育課程及び指導法について理解する 特別支援学校における教育課程について、学習指導要領を中心に、障害種に応じた教育内容や指導方法について理解を深め、特別支援教育を実践する上で必要となる指導力を身に付けます。 ・知的障害教育、肢体不自由教育、病・虚弱教育等に関する基礎的な知識や、教育的支援を必要とする幼児、児童及び生徒への学習や生活上の支援のあり方、具体的な指導方法を身に付けます。 ・視覚障害、聴覚障害、重複障害、発達障害のある幼児、児童及び生徒の教育の概要について理解します。また、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し、心身の調和のとれた発達を目指した自立活動の理論と実践を身に付けます。				知的障害教育Ⅰ②	知的障害教育Ⅱ②		
				肢体不自由教育Ⅰ②	肢体不自由教育Ⅱ②			
				病弱教育Ⅰ②	病弱教育Ⅱ②			
					視覚・聴覚障害者教育論②	重複障害教育総論②	障害者の自立活動の理論と実践②	発達障害教育総論②
■健康運動の理論と方法について理解する 健康運動の理念に基づく実践と指導について、生涯スポーツに関わっていくための基礎的な知識の理解を深めるとともに、各年齢層に応じた健康運動実践指導をするための能力を身に付けます。 ・スポーツがもたらす人間への影響力を理解し、各運動種目の基本的な技術、ルール、指導法及び様々なスポーツ場面においても活躍できるリーダーとしての資質を身に付けます。 ・スポーツの特性・特徴について考察するとともに、スポーツの現状を心理学、経営管理、社会学、医学などの様々な面から考え理解する能力を身につけます。 ・自ら見本を示せる技術を身に付け、集団への運動指導力やそれぞれの運動の理論を修得し、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導できる能力を身に付けます。	スポーツ実技Ⅰ②	スポーツ実技Ⅱ②				スポーツ実技Ⅲ②		
			運動学②					
			体力測定法②	トレーニング論②				
				コーチング理論②	スポーツ指導法②			
		スポーツ原理②	スポーツ心理学②	スポーツ経営管理②		スポーツ医学②	リハビリテーション論②	スポーツ社会学②
						健康運動実践指導Ⅰ②	健康運動実践指導Ⅱ②	
■健康管理の理論と方法について理解する 学校運営上求められる学校保健推進のための基本的な知識の理解を深めるとともに、子どもの成長・発達に応じた健康管理を行う能力を身に付けます。 ・子どもの成長・発達の特性や健康の保持・増進に関連する基本的な知識を修得し、子どもの健康問題について理解するとともに、児童・生徒の健康管理や安全に常に配慮する姿勢を身に付けます。 ・養護教諭の果たすべき職務や役割についての基本的な知識を修得し、保健室の在り方や児童・生徒の健全な成長・発達を促進するための具体的な方法を理解するとともに、学校救急処置に必要な知識・技術・態度を身に付けます。			健康管理論②	生活習慣病論②				
			解剖生理学②	生理学②				
				免疫学②				
			衛生学②	公衆衛生学②				
				栄養学②	スポーツ栄養学②			
				養護概論②	健康相談活動②			
			学校保健②			精神保健学④		救急処置法②
			看護学概論②	看護技術論②	看護学実習Ⅰ②	看護学実習Ⅱ②	看護学実習Ⅲ(救急処置)②	
■心理と相談援助の理論と方法ついて理解する 教育現場での相談や援助のあり方について理解し、具体的な問題に対してそれぞれに適した対応をすることのできる知識と、カウンセリング・マインドで対応できる能力を身に付けます。 ・心理学において必要な様々な研究方法について学び、基礎的な統計法や実証的研究方法の知識を身に付けます。 ・心理学の実験・実習を通して、データ解析や心理検査等の基礎的な手法を実践的に身に付けます。 ・知覚、記憶、言語、思考、認知、学習など、人間が生活を営む上で基礎となる心理学に関する知識を身に付けます。 ・人が集団の中でどのように振舞うかというような、行動理解の基礎となる社会心理の知識を身に付けます。 ・性格や人格特性などの個性や個人差の問題を学び、人格心理学の知識を身に付けます。 ・心の問題を抱えた人を理解するための理論とその援助方法について、事例研究を通じて、心理臨床の実践的課題への基本姿勢を身に付けます。 ・カウンセリング・マインドについての理解を深めるとともに、自己を振り返り、洞察を深め、他者理解へと関心を拡げる姿勢を身に付けます。					心理学統計法②		心理学研究法②	心理学調査実習②
	心理学概論２	教育心理学②		学習・言語心理学②	感情・人格心理学②	知覚・認知心理学②		
		発達心理学②			社会・集団・家族心理学②	発達臨床心理学②		社会心理学②
						福祉心理学②	障害者・障害児心理学②	
		臨床心理学概論②	心理的アセスメント②	心理アセスメント実習②	心理療法②			
				心理学的支援法②				
			心理学基礎実験②					

※表中の数字は単位数を表し、［　2　］は必修科目、［　②　］は選択科目です。